

# 浦添市てだこ市民大学雑記帳 第30号

2018年8月発行

旧盆も終わり、少しずつ秋の気配を感じる季節となりました。  
これから市民大学の後半の講義が始まります。  
さらにまなびを深めていきましょう。



## 第1回公開講座

8月2日にコミュニティビジネス・地域振興学部の講座「はじめてのビジネス講座」  
(講師：リボルブ代表 鮫島智行氏)を公開講座として開催しました。

在校生、卒業生、一般の方が多く参加し、コミュニティビジネスをはじめとするビジネスの基本を学びました。「盆栽好きなおじさんが盆栽をビジネスにするにはどのようなことが考えられますか？」など、楽しく考えながら、ビジネス初心者の心にも届く内容でした。



～受講者の感想より～

○具体的な事例を紹介していただき、大変よく理解できました。いろいろ夢が見られそうです。

○鮫島さんの話はアイデアを考えその気になればだれでも起業できるのかなと思いました。楽しい内容でした。チャレンジしてみたいです。

○初心者に向けたわかりやすい内容だったと思います。還暦を迎えて起業を考える方も多いと思うので、実際に個人で起業される方などの事例を挙げた中級編のようなものがあると良いなと思いました。



## 卒業生インタビュー Vol.11

今回は、健康福祉・スポーツ振興学部8期生の西啓亨<sup>ひろゆき</sup>さんを紹介します。  
西さんは現役の医師として多忙であるにも関わらず、仕事・家庭(子育て)・まなびを継続してきました。

今後は地域で、琉球大学医学部附属病院の臨床倫理士・金城隆展先生と共に、生き方を考えるための終活講座を実施していきたいと話しています。



健康福祉・スポーツ振興学部卒業生 西 啓亨さん(8期生)

Q. 入学した動機は何ですか？

A. 市民でありながら、浦添のことを何も知らなかったのが、多くの浦添のことを知りたくて、入学しました。結果、街に対する愛着が、とても強くなりました。

Q. 現在どのような活動をしていますか？

A. 私自身は、医療従事者であり、多くの死に向き合う場面が多々あります。そのような場面で、多くの人は、死に対して、準備不足です。そこで、人生の最終ゴールである死について考えることで、それまでどう生きるか？ すなわち、「死に方」を考えることで、「生き方」を考えることの重要性についての普及活動をしています。市民公開講座、自治会での講演会のコーディネートなどの実績があります。

Q. 市民大学で学んだことが、現在の活動にどのように役立っていますか？

A. 市民大学で学んだ知識というよりは、背景が異なる、世代を超えた同級生との繋がりが非常に役立っています。物事を見るのにも、様々な視点があることを改めて、再認識させられました。また行政の守備範囲がある程度理解でき、活動に役立っています。

Q. 終活講演会について聞かせてください。

A. 長生きすることが幸せで、短命が不幸せなのでしょうが、問題は、生まれて死ぬ一度きりの人生をどう生きるかだと思います。今この瞬間をどう生きるか？ 改めて考える機会を提供できればと活動を続けています。公民館など地域に密着した場所で、少人数で開催できればと考えます。



市民大学公開講座の企画



市役所職員向け講演会コーディネート

皆さんのお住いの地域で、終活講演会「よりよく生きるために死について考える～輝いて今を生きるために～」(講話：金城隆展氏)を開催してみませんか。

ご希望の方は事務局までご連絡ください。こちらから西さんにおつなぎします。(担当：屋良)

### ★★★ 事務局からのお知らせ ★★★

ハーモニーセンターのfacebook ページを作成しました。  
市民大学の情報や市民協働・男女共同参画課からののお知らせを随時アップしていきます。  
「いいね」👍をして、情報収集にご利用ください。

facebook <https://www.facebook.com/urasoecityharmony/>



～問い合わせ先～ 浦添市市民部 市民協働・男女共同参画課 浦添市てだこ市民大学事務局  
〒901-2114 沖縄県浦添市安波茶2-3-5 (浦添市 市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター内)  
TEL 098-874-5711 FAX 098-874-5890  
Mail:siminkyodo@city.urasoe.lg.jp 浦添市 (HP) : <http://www.city.urasoe.lg.jp/>

